

2023 vol.4

タウントーク

”アート×デジタルが 地域に新たな賑わいを創出”

写真：「PLATFORM/舞台」作品より

○2023年度
第4回タウントーク
「アート×デジタルが
地域に新たな賑わいを創出」
*日時：12月18日（月）
19時～20時
*会場：ちとせまちライブラリー
オンライン同時開催

*ゲストスピーカー

○青木広宙 氏
公立千歳科学技術大学
電子光工学科 教授

○山田 大揮 氏
インストラクター、テクニカル・
コーディネーター、アーティスト

○山田 萌果 氏
北海学園開発研究所嘱託研究員
博士（文学）

- タウントーク担当 -

*曾我 聡起
公立千歳科学技術大学 理工学部
情報システム工学科 教授

*川名 典人
公立千歳科学技術大学
理工学部 客員教授

*お問い合わせ

n-kawana@photon.chitose.ac.jp

2023年度第4回タウントークのテーマは「アート×デジタルが地域に新たな賑わいを創出」です。

皆さんご存知でしょうか。北海道で元気な町の一つ、東川町が取り組んでいる町おこし。1985年に「写真の町」を宣言してから継続的に街の魅力を写真で発信しています。「写真甲子園」という高校の写真部・サークルから募集の写真コンテストも盛んです。最近では隈研吾氏らと2026年オープンを目指してデザインミュー

ジアムの準備を進めており、アートを用いた地域の賑わい創出にさかんに取り組んでいます。

現代アートは社会的な課題をモチーフにすることが多くあり、単なる嗜好としてのアートではなく、考える場を提供する手段として利用されるようになってきています。本学の青木広宙教授は美術家の艾沢詳子氏とコラボして、2023年にアートとテクノロジーの融合を図る展示、「Platform/舞台」を発表し、「ア

ト&テクノロジー東北2023」で優秀賞を受賞しました。この展示では山田大揮氏が展示空間や舞台効果を担当しました。この作品のテーマは「社会の分断と人々の生活」であり、“見て楽しむ”だけでなく“考えて楽しむ”アート作品としての実装が試みられました。

今回のタウントークでは、これまでの青木教授らの活動や、青木教授と山田氏が1月に千歳市民ギャラリーで開催する展覧会「****のためのプロンプト」についてお話を伺いま

す。お二人に加えて美学研究者の山田萌果氏をお迎えし、展覧会のテーマでもある「世の中に存在する表現が誰による表現なのか」という視点について考えていきます。さらに、アート×デジタルを切り口にしたアート展の東川町の取り組みのような地域の賑わいや、最近話題のSTEAM教育に果たす役割についても考えていきます。

○次回のタウントーク
2024年2月28日
18:00（水）

○タウントークはオンラインでも実施いたします。下記のサイトか右側のQRコードから情報を取得してください。

<https://snc.chitose.ac.jp/snc/towntalk.html>

